

掛田自治協議会からのお知らせ

掛田の広場



第18号
2019年3月28日
掛田自治協議会
＜発行責任者＞
会長 佐藤隆昭



上映後、八島部会長の話を聞く

昨年講評だった「毎日がアルツハイマー」の完結編「ザ・ファイナル」を2月23日霊山中央交流館で上映し、約60名が観賞した。
親がアルツハイマーになって、人生の最終期を迎えたとき、家族はどのように対処したらよいか、考えさせられた深いテーマの映画であった。

「毎日がアルツハイマー」完結編を上映 対処法を考える

羅患者の半数がアルツハイマー型の認知症であり、記憶をつかさどる「海馬」が萎縮することによる。現在、治す薬は無いが、進行を抑



「震災から学んだ生きる力」

生涯学習講演会を開催

今年も3月11日を迎え、東日本大震災の記憶を新たにし、命の大切さと災害に対する日頃の備えを考える機会がやってきました。

掛田自治協議会と地元学「霊山学」は共催で、生涯学習講演会を1月15日に霊山中央交流館で開催し、約一二〇名が聴講しました。講演会は「震災から学んだ生きる力」の演題で、福島市山口の安洞院東堂の横



何気ない日常を大切に生きたい

山俊邦様を講師に迎えました。写真。震災当時は情報が飛び交う中での避難者への対応や墓石の倒壊など、お寺として



える薬はあるので、早めの診断が必要である。②認知症専門の「小規模多機能型施設」は羅患者の残存能力を最大限引き出すケアをしている。③パーソン・ド・ケアとは「一人ひとりの要望・容態に応じたケア」という意味です。どこの施設でも、目標にしていますが、現実として介護員の質と人員不足の問題で様々な。④緩和ケアは「終末期を迎えて本人・

家族の医療行為は望まない」として看取り契約という選択肢がある。
最後に八島利幸健康福祉部会長は「ともかくにも、あの世にぼつくりと旅立ちたいのは誰でも望んでいる。将来認知症にかかるかどうか分からない。元気なうちに、各種老人ホームか自宅で過ごすかは、家族と共に対処法を考えておく必要がある」と解説された。
大変な苦労と役割があったようです。その経験の中から、無念の死を受け継ぐことが生きる力になり、疑問をもつて学ぶ心を忘れないこと、人との付き合いが心の栄養になること等について語られました。
日々の生活を楽しく過ごすことの重要性を改めて気づかされ、多くの皆さんが感動した講演会となりました。

つもりちがい十ヶ条

- 高いつもりで低いのが 教養
 - 低いつもりで高いのが 気位
 - 深いつもりで浅いのが 知識
 - 浅いつもりで深いのが 欲望
 - 厚いつもりで薄いのが 人情
 - 薄いつもりで厚いのが 面皮
 - 強いつもりで弱いのが 根性
 - 弱いつもりで強いのが 自覚
 - 多いつもりで少ないのが 分別
 - 少ないつもりで多いのが 愚鈍
- そのつもりでがんばりましょう
曹洞宗 香澤山 安洞院

～お知らせ～

- 4月7日(日) さくらまつり もちつき・売店 茶臼の里 11:00～14:00
- 4月14日(日) 四十九院・子育て地藏・田元の墓祭りを訪ねて ～ウォーキング～ 集合受付 8:30 日向前団地集会所
- 4月22日(月) 31年度行政推進員委嘱状交付式 霊山中央交流館 13:30



掛田地区老人クラブ協議会(阿部隆雄会長)は1月10日、町内の「すゞきや」で新年会を開き、出席者は交流と親睦を深め、新年を祝った。写真。
地区内の五つの単位クラブから76人が出席した。阿部会長は「年一回の機会なので、酒を酌み交わしながら、ゆつくりと欲談してほしい」とあいさつ。佐藤三雄伊達市霊山総合支所長、佐々木彰所長、佐藤清寿市議、八島良子掛田婦人会長が

交流と親睦を深めた新年会

掛田地区老人クラブ協議会

祝辞を述べた。
渡辺豊第一松寿会長の発声で乾杯し、祝宴に入った。出席者は、余興の舞踊カラオケを楽しみ、和やかに新年の抱負を語り合った。
最後に、佐藤隆昭第五松寿会長の首頭で、万歳三唱し、会員の健康と幸せを願った。

会話も弾み楽しい新年会

掛田婦人会

掛田婦人会(八島良子会長)は2月1日、恒例の新年会を「伊達の郷道の駅りょうぜん」で行いました。24名が出席し、会話も弾み楽しい新年会でした。次々に運ばれてくる料理に舌つつみ

施設利用についてのお願い

各種団体の皆さん、また、町内の皆さんには常日頃、中央交流館を利用して頂き、ありがとうございます。
平成30年は左表のとおり延べ2万5千人以上の方が利用されました。使用後に各部屋の清掃、片付けについては皆様のご協力により、きれいに返して頂いておりますが、一部にそのま

平成30年 霊山中央交流館利用状況

利用月	回数	人数
1	75	2,427
2	110	2,088
3	147	2,162
4	125	3,071
5	111	2,035
6	122	1,793
7	110	2,016
8	86	1,741
9	114	2,411
10	105	2,859
11	117	2,079
12	82	1,651
合計	1,304	26,333

ま帰られる団体や個人利用の方が見受けられます。例えば、休日や夜間に使われた部屋が汚れていけば、翌日利用する人たちが不愉快な思いをする事になります。
特に月曜日、午前中使用の場合、お掃除が間に合いません。
みんなで利用して頂く大切な施設なので、お互い気持ちよく使えるようにご協力をよろしく願います。

コラム

兄弟関取が誕生

「第15号コラム」で取り上げた三男若隆景関に続き、二男若元春が初場所、幕下全勝優勝を果たし、十両昇進を決めた。
▽若元春関は若隆景関と共に兄弟関取として春場所に臨む。隣接の福島市の出身であり応援に熱が入る。
▽幕下には長男若隆元がおり、十両昇進を果たせば史上初の三兄弟関取が誕生する。
三兄弟の今後の活躍を期待したい。



編集後記

春の足音がぐーんと近づいてきた。桜前線も駆け足で北上している。茶臼山の桜の開花が待ち遠しい。
「掛田の広場」第18号が平成最後の発行となる。計画どおり年4回発行することができた。皆さんから情報の提供をいただいたおかげです。
平成の時代は、4月で終わり、5月から新元号に変わる。新元号がどのように変わろうとも、平穏な時代であること願うのに、変わりはない。



お問い合わせ先 霊山中央交流館
電話 586-1314 FAX 586-3391
e-mail kakedajichikyougikai@aioros.ocn.ne.jp



支団長訓辞 空気もピリッと張りつめて

りょうぜんマルシェ開催
ワークショップや出店で大盛況

マルシェ実行委員会(大竹重政実行委員長)では、りょうぜんマルシェ「いちご・いちえ」を3月3日(日) 霊山中央交流館で開催しました。地元霊山町をはじめ、隣接市町から約700名の来場があり、大盛況でした。

ワークショップでは、イノシシの革を使ったコインケース、アイシングクッキー、ステンシル、伊達政宗ボールカブト作り等に約150名の参加がありました。また、16店舗の出店があり、地元産のいちごや新鮮な野菜、いちごスイーツなどを買い求める客でいっぱいでした。



ばいでした。
 午後は、りょうぜん初上陸の「サウスアイズ・ウイズ・シノブ」のミニライブを楽しみました。



多くの人で大にぎわい

消防団の初午行事
無火災祈願祭と閲団

今年の初午は、3月10日(旧暦2月4日)です。旧2月最初の午の日の「初午」と呼ばれています。

伊達市消防団霊山支団では、初午行事として、無火災祈願祭と支団長訓辞、火の用心啓発活動などを実施しました。

当日は、本団から団長はじめ幹部、伊達地方消防組合消防長、伊達警察署長の出席を頂き、霊山中央交流館で厳粛に行われました。

「春の火災予防運動」は、3月1日から1週間展開されました。春の時期は乾燥しやすく、火災が発生しやすいので、火の取り扱いには十分注意しましょう。

「はつらつ教室」異世代交流

12月21日異世代交流を行い神愛幼稚園(幼保連携型認定こども園)の皆さんとクリスマスパーティーを開きました。

園児によるおゆうぎの後、一緒にうたをうたい(赤鼻のトナカイ、お正月等)ジャンケンゲームをして楽しみました。目を細めておゆうぎを見、声をあわせて



受講生もうつりの包丁さばき

「はつらつ教室」異世代交流

12月21日異世代交流を行い神愛幼稚園(幼保連携型認定こども園)の皆さんとクリスマスパーティーを開きました。

園児によるおゆうぎの後、一緒にうたをうたい(赤鼻のトナカイ、お正月等)ジャンケンゲームをして楽しみました。目を細めておゆうぎを見、声をあわせて



相手の手を考え熱戦

第1回マンカラ大会を開催

社会教育部会では、第1回マンカラ大会を2月17日、霊山児童館で開きました。小学生ら6名が参加。少人数でしたが、初めに梁川レクレーション協会中木雅彦さんの講習を頂き、トナメント戦で始まりました。対戦終了ごとに一喜一憂し熱戦を展開しました。

マンカラというゲームは、馴染みがありますが、アフリカなどで古くから遊ばれていたゲームです。相手の先の手を考え、創造力を育てるゲームとされています。

当会では、活発で思いやりのある少年を育成しようと考え、その一つとして、大会を開催したものです。

(八島豊吉)

各部会からの事業報告

掛田自治協議会

掛田自治協議会の組織は、総務企画部会、地域づくり部会、健康福祉部会、環境防災部会、社会教育部会の5つの部会から構成されています。

平成30年度の各部会の事業の概要について、以下報告します。

好評だったキャンドルナイトウォーク

総務企画部会

総務企画部会は、掛田自治協議会全体の管理運営を統括し、五つの各部会の事業を支援しました。大きな事業は、伊達市から委託を受けている霊山中央交流館の管理運営。大好評だった8月13日に開催のキャンドルナイトウォーク。「掛田の広場」は、年4回(第15号から第18号)発行。身近な広報紙として、地域の出来事などを掲載し、提供しました。

(総務企画部会長 阿部 隆雄)



手作りの竹灯籠が会場を盛り上げた

会津三島町での研修会

地域づくり部会

30年度、平成最後の年も皆様のご協力のもと、「さくらまつり」「キャンドルナイトウォーク」そして会津三島町での研修会と事業を進めて参りました。写真。

それから懸案の「地域のお宝さがし」(歴史の再調査)は続行中でありま。

住みよい地域づくりに、皆様の知恵と知識を是非お貸しください。

(地域づくり部会長 佐藤 吉彦)



はつらつ教室で「元気に」

健康福祉部会

今年度はこれまで行政サイドで開催されていた「はつらつ教室」を引き継ぎ、試行錯誤しながらも、様々な活動を展開した。(11回開催)

9月にシルバー作品展、



カーリングを楽しむ

里山林整備事業を実施

環境防災部会

茶臼山では竹林が拡大し、展望、景観が損なわれておりました。

その為、今年度の事業として県の助成金を利用して里山林整備事業に取り組みました。

今回実施した面積は0.4haで、11月上旬から10日間述べ36人の方々の協力を頂きました。眺めの良くなった茶臼山、お花見や手軽に登れるハイキングコースとして、お出掛けください。

地震以外にも土砂崩れ、大雨による災害等隣近所との連携で安否確認や情報収集力の強化が強く望まれております。

今後も各行政区の自主防災組織設立に向けて、具体的な取り組みを支援していきます。



竹林の伐さいで見晴らしがよかった

チビッコタイムトラベルを実施

社会教育部会

30年度の事業はチャレンジデーに合わせたラジオ体操会が始まりました。

夏休みにはチビッコタイムトラベルを企画し、会津の地を訪ね、飯盛山・白虎隊19の墓と記念館を見学、会津藩日新館で



精神統一 弓を体験

うたい、ジャンケンゲームではおぼしに力を入れ本気で戦い(?!), 笑顔あふれるひとときでした。

(菅野千恵子)



楽しいお茶会